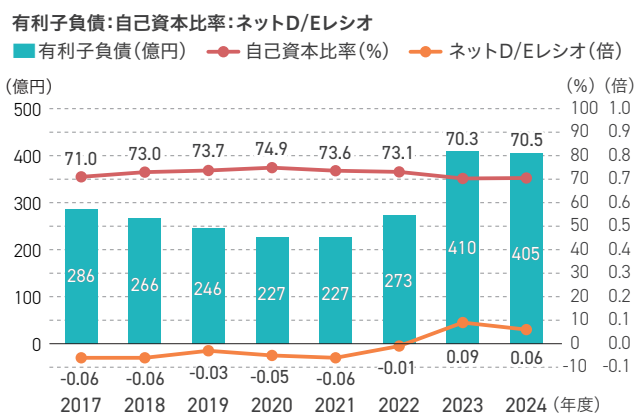


## 財務資本

### 財務体質

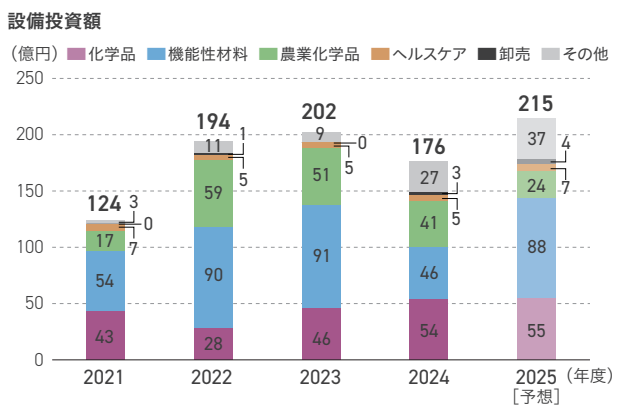
当社は自己資本と有利子負債のバランスに配慮し、極めて堅固な財務基盤を築いています。自己資本比率は高い水準を維持しており、有利子負債残高は、日本格付研究所(JCR)による高い格付を維持できる水準を確保しています。その結果、企業の健全性をはかる指標の一つであるネットD/Eレシオは低水準にとどまっています(低いほど健全とされる)。



## 製造資本

### 設備投資

2024年度、当社グループでは製造設備の増強などを中心に総額176億円(キャッシュ・フローベース)の設備投資を行いました。設備投資は、コア成長事業における製造能力増強(主に海外)により近年増加しています。

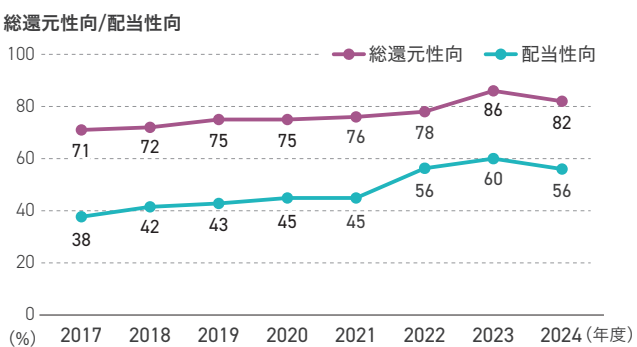


### 国内工場

国内5県に広がる本体工場は、最新鋭の機器・設備も着実に導入されており、今も進化を続け、製品の安定生産に努めています。

### 株主還元

企業の収益力を示すROEを重要視し、株主資本を最大限に活用することを目指しています。当社ROEは、東証プライム市場上場企業の平均を大きく上回っており、2024年度は18.7%でした。配当性向は、2015年度の30.7%から段階的に引き上げ、2024年度実績は55.5%でした。また、総還元性向の2024年度実績は82.0%でした。今後も中期経営計画Vista2027に基づき、配当性向目標55%以上、総還元性向目標75%以上を掲げ、積極的な株主還元を実施します。



### ●袖ヶ浦工場(千葉県)

スペシャリティケミカルズの中核工場。最先端の情報電子産業をはじめ幅広い産業分野で使用される無機材料および電子材料を生産しています。

### ●埼玉工場(埼玉県)

農薬の製剤工場。水稻用除草剤および殺虫剤・殺菌剤を生産しています。

### ●富山工場(富山県)

日本有数のアンモニア総合化学工場として発展。現在では、電子材料をはじめとするIT関連製品にも注力し、多彩な製品群を生産しています。

### ●名古屋工場(愛知県)

硫酸の製造を中心に発展。現在は、精製硫酸、高純度硫酸をはじめ、ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水「アドブルー®」などを生産しています。

### ●小野田工場(山口県)

1910年に日本で初めて農薬を製造した130年以上の歴史を有する工場。現在はライフサイエンス製品として農薬や医薬、有機ファインケミカル製品を生産しています。

## 社会関係資本

投資家や地域社会、NPO/NGOなどの多様なステークホルダーと長期にわたり培ってきた信頼関係は、事業活動を支える基礎となっています。当社グループの拠点を社会貢献の基盤として、「教育・学術・文化の振興」「地域貢献」「地球環境保護」「健康福祉の増進とスポーツ振興」の4つに重点を置き、企業市民としてさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。



工場見学の様子(埼玉工場)

## 自然資本

製品を製造するうえで、エネルギー・水・原料の利用や、温室効果ガス(GHG)排出などの環境負荷を避けることは困難です。当社グループでは、「レスポンシブル・ケア活動の継続的強化」をマテリアリティの一つとしており、気候変動の緩和や、産業廃棄物・汚染物質の排出削減などをマテリアリティ要素として特定しています。「環境・健康・安全」に配慮するレスポンシブル・ケア活動を通じて、環境負荷低減に努めるとともに、事業を通して環境課題の解決に貢献します。

### 環境配慮型製品・サービスの提供

当社は、製造・物流・使用・最終消費の各工程において、環境負荷の低減あるいはその達成に重要な役割を果たす製品を、環境配慮型製品と定義しています。自社製品における環境配慮型製品の比率向上を通じて、環境との調和を図り、社会に貢献することを目指します。

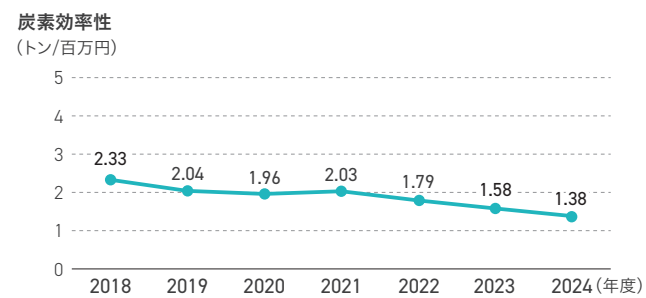
### 地域住民との交流

工場では、地域住民・近隣学校を対象とした工場見学会や説明会を継続的に実施しています。主要設備に加え、特に防災や環境への取り組みについて説明し、安心安全な工場であることへの理解の浸透に努めています。このほか、工場周辺の公共道路や駅の清掃、地域住民との共同による花の植栽など、地域の美化活動に参加しています。2024年度は、埼玉工場、富山工場、小野田工場にて、工場見学会を実施しました。

詳細は、当社Webサイトをご覧ください  
Web 地域社会への貢献  
生物多様性への取り組み

### GHG排出量削減の取り組み

富山工場、小野田工場では、アンモニアの原燃料であるナフサや、ボイラー燃料である重油を天然ガスに転換し、CO<sub>2</sub>の排出量を大幅に削減しています。これまで行ってきた低炭素投資や製品特性により、当社は化学業界において炭素効率性(GHG排出量原単位)が相対的に良い状況です。



詳細は、当社Webサイトをご覧ください  
Web レスポンシブル・ケアマネジメント  
気候変動の緩和  
産業廃棄物・汚染物質の排出削減  
化学物質の管理  
水資源の保全  
生物多様性への取り組み  
環境配慮型製品・サービスの提供